

福祉科1年 音楽療法講習会

令和6年7月9日(火)に、福祉科1年生40人(男子7人、女子33人)が大垣女子短期大学音楽総合学科教授であり音楽療法士の菅田文子先生から音楽療法について学びました。

音楽療法とは?

音楽のもつ生理的・心理的・社会的働きを用いて、心身の障がいの回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的・計画的に活用すること



楽器を用いた音楽療法演習



<使用した楽器>

- ・マラカス
- ・鈴
- ・鳴子

<音楽>

- ☆YOUNG MAN
- ☆憧れのハワイ航路
- ☆高校三年生
- ☆星影のワルツ



ハンドベルを用いて「大きな古時計」を演奏しました



<生徒の感想>

- * 知的好奇心が強いほど脳の加齢は抑えられ、音楽を聴くことによって記憶の促進などにつながる音楽療法をぜひ介護をする中で取り入れていきたいと思います。
- * 私が一番納得したことは、記憶についての効果です。歌を聞いたり歌ったりすることで、その曲が流行した当時のことが想起され、それに伴ってほかの記憶まで思い出すことがよくあるからです。昔を思い出すと記憶力の向上も期待されるので、効果的に取り入れていきたいです。